

き
と
だ
よ
い

だれもが身近な地域で、安心していきいきと暮らせる地域づくり

社協だより

2024. 1 月

No. 163

令和6年1月1日発行



NIPPON 社協郵便

年 賀 2024

社 協 は が き

0 9 9 ☆ ☆ ☆ ☆



清里町羽衣町35番地35
社会福祉法人
清里町社会福祉協議会

清里町にお住まいの皆様

昨年中は大変お世話になりました。
本年もよろしくお願いいたします。

斜里郡清里町全域



P. 2~3

新年のご挨拶

P. 4

まんまるカフェ

P. 5

ご寄付ありがとうございます
年末年始のお知らせ

P. 6

社協ほっと通信

主な
内容

0 9 9 4 4 0 5

R2024組

令和6年 辰

22-4840

編集・発行 社会福祉法人 清里町社会福祉協議会 清里町羽衣町 35 番地 35 TEL 22-4840 FAX 26-7583

この社協だよりは、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金助成金の一部をあてて発行しています。



清里町社会福祉協議会ホームページのQRコードができました。ホームページでは、清里町社会福祉協議会からのお知らせや事業の概要を紹介しております。皆さんお気軽にアクセスして下さい。

新春のご挨拶



社会福祉法人
清里町社会福祉協議会

会長 横井 英治



新年明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

日頃より、社会福祉協議会の運営及び事業推進に
対しまして、ご支援とご協力いただき、衷心より感
謝申し上げます。

昨年は、6月23日に評議委員会が開催され、理事
12名、監事2名の選任をいただき新体制がスタート
いたしました。

またコロナウイルスは、5月8日より5類感染症
に移行し、個人、事業所の判断が基本となり、予防
に対する意識が薄れ、ここ数年発生が見られなかつ
たインフルエンザが流行の兆しを見せております。

社協では「介護老人保健施設」と「ケアハウス」
を運営しており、コロナとインフルエンザの集団感
染を回避するため一部面接制限など感染対策を続
けておりますのでご理解をいただきたいと思います。

近年、道内の訪問介護事業所と介護施設で職員不
足と経営難により、事業から撤退する法人が増えて
おります。

社協では、基本理念であります「だれもが住み慣
れた地域で安心していきいきと暮らせる福祉のま
ちづくり」のため、事業を進めさせていただきま
すので、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げ、新
年のごあいさつとさせていただきます。

謹賀新年



社会福祉法人

清里町社会福祉協議会

顧問	塚田 昭	顧問	稲垣 友子	会長	横井 英治	副会長	永吉 盛輝	副会長	垂石 悦子	理事	春名真由美	理事	橋立 秀彦	理事	塩澤みちよ	理事	桑島 弥生	理事	池下 昇	理事	石川 教治	理事	田島 祥子	理事	梅村百合子	理事	石井 桃子	監事	成戸 秀幸	監事	村上 孝一
----	------	----	-------	----	-------	-----	-------	-----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------



ペットボトルキャップ収集活動報告

町民の皆様からご協力いただいているペットボ
トルキャップ収集は、本年度網走市シティ環境株式会
社へ145.4kgお届けしております。

シティ環境株式会社では、回収したペットボ
トルキャップをリサイクル業者へ売却しその売り上げを
「世界の子供にワクチンを日本委員会(JVC)」へ届け、
ポリオワクチンの支援を行っています。

ご家庭で不要な布類・衣類はありませんか。

自治会女性部連絡協議会では、ウエスを切り老健き
よさとへ毎年たくさんご寄付いただいております。

今年は、ウエスになる布類・衣類が不足してありま
す。ご家庭で不要な布類・衣類がございましたら、保健
センター玄関前に設置している、布類回収ボックスに
出していただきますようご協力お願いいたします。
※ジーパン・ジャージ類以外の古布でお願いいたしま
す。

3町ボランティアの集いを開催しました

11月25日(土)、保健センターにて「斜里郡3町ボ
ランティアの集い」が4年ぶりに開催され13名の方が参加
されました。

この事業は、ボランティア活動の共有を通じ、3町ボ
ランティアのつながりやボランティア意識の共有を図ることを
目的とし、斜里町社協・小清水町社協と合同で開催してあり
ます。

今年度は清里町ボランティアスクールでもおなじみの、
一般社団法人笑い文字普及協会鴻巣知香子氏による「笑い
文字初級講座」を実施し、「ま〜るま〜る」と言いながら
「ありがとう」の文字を書き、参加者同士で交換しあいま
した。



新春のご挨拶

清里町共同募金委員会

会長 島 山 英 樹



新年あけましておめでとうございます。

皆様にはご健勝にて、希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃より清里町共同募金委員会の活動に對しまして、温かいご支援ご協力を賜り、衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年10月1日より実施しました「赤い羽根共同募金運動」、また12月1日より実施しました「歳末たすけあい運動」におきましては、町民の皆様より多くの募金をお寄せいただいております。役職員一同、心より深く感謝とお礼を申し上げます。

さて、戦後昭和22年に始まった共同募金運動は、昨年77回目を迎え、時代の歩みとともに変遷し、昨年は「つながりをたやさない社会づくり」をテーマに共同募金活動を展開し、募金額の約7割が清里町に還元され、様々な地域福祉活動に大切に使われております。

また、昨年は「きよーる祭り」や4年ぶりに開催された「産業まつり」にも参加させていただきました。イベント募金では多くの皆様よりご協力をいただきました。

皆様からお寄せいただいた募金は、有効に使われるようきめ細やかな配慮をし、本当に必要な方々へ善意をお届けできるよう努力をして参ります。

最後になりましたが、今年も支えあいまちづくりを目指し、皆様のご支援をいただきますようお願い申し上げます。令和6年が皆様にとりまして幸せ多い年でありますようご祈念申し上げます。新春のご挨拶といたします。

赤い羽根共同募金



10月1日から12月31日まで「赤い羽根共同募金運動」を展開し、本年度も町民の皆様より心温まる善意の募金をお寄せいただきました。

募金をいただきました皆様、また、募金の周知やとりまとめを行っていただきました自治会の役員の皆様には、心より深く感謝とお礼を申し上げます。

今後とも赤い羽根共同募金運動の趣旨にご理解とご協力をお願い申し上げます。

【募金の内訳】

目標額 1,500,000円
募金額 1,430,771円

(令和5年12月10日現在)



一般募金 : 513,200円
特別募金 : 229,820円
法人募金 : 390,000円
職域募金 : 193,000円
イベント募金 : 72,665円
その他 : 32,086円

会長 島山英樹
副会長 居城勝四郎
理事 吉田豊子
理事 柏倉守
理事 二杉早知子
理事 永吉盛輝
理事 石川みや子
理事 岩佐真知子
理事 穴戸清子
理事 吉田幸典
理事 太田富士子
理事 桑島美喜雄
理事 石井勝之
理事 矢代淳子
理事 菅原みき
監事 田中博光
監事 小笠原利一郎

清里町共同募金委員会



謹んで新春のお慶びを申し上げます



～まんまるカフェとは？～

町民同士が気軽に膝を付け合わせながら交流でき、日頃の困りごとを話し合える「移動式カフェ」として、清里町社会福祉協議会が行っている事業です。

～10月4日 札弦センター～

ふまねっと運動教室後の開催。予定していた「札弦地区盆踊り」を開催！参加者の方が選曲や準備を行い、踊ったり休んだり、また踊ったり。汗をかきながら、楽しく笑顔あふれる時間となりました。



～11月1日 緑地区老人クラブ～

短冊に願いを書いていたところ、「ピンピンコロリと行きたい」「人口が増え活気が欲しい」「いつまでも元気で過ごしたい」といった願いが込められていました。



～11月21日・12月5日 清里町生涯学習総合センター～

市街地区老人クラブなごみ会解散後、定期的な集まりの場が減少していた市街地区。軽い運動やコグニサイズ、カラオケなどを行いました。



～11月9日 緑センター～



地域食堂ポッケさんと共同開催！おいしい食事を楽しんだ後は飲物を飲み談笑し、一休憩後は運動やレクをして過ごしました。



希望の木～KIYOSATO未来予想図～

七夕から継続して、様々な方に「清里町にあったらいいなあと思うもの」「自分がこれから清里町でどのように過ごしていきたいか」などの願いを書いていたいております。清里町社会福祉協議会窓口に展示してありますので、ぜひお気軽にいらしてください。

まんまるカフェでは、悩み事・困りごとの「なんでも相談」も行っております。ご希望の方は職員にお声掛けください。またご相談は清里町社会福祉協議会事務所や、お電話でも随時受け付けております。お気軽にご相談ください。

次回のまんまるカフェは雪解け後に実施予定です。その際は広報折込やホームページなどでお知らせさせていただきますので、ぜひご参加ください。

ご寄付ありがとうございます。

皆様の心温まる善意は、地域福祉のために大切に活用させていただきます。
(令和5年9月15日～令和5年12月10日)

社会福祉協議会 介護老人保健施設きよさと ケアハウスきよさと

【 寄 付 金 】

- ・ 齋 藤 仁 美 様 (羽衣町第1)
- ・ 水 上 芳 春 様 (札弦町第1)
- ・ 安 藤 忍 様 (向陽東)
- ・ 井 澤 進 様 (小清水町)
- ・ 福 原 敏 之 様 (網走市)

【 寄 贈 品 】

- ・ 服 部 泰 蔵 様 (羽衣町南)
- ・ 辺 見 幸 子 様 (羽衣町第1)
- ・ 美 馬 廣 子 様 (向陽北)
- ・ 水元町第1自治会女性部 様
- ・ JA 清里町農協女性部アカシア部会 様



北海道コカ・コーラボトリング株式会社様より
コカ・コーラ製品の寄贈をいただき、一人暮らし
高齢者生活用品等配付事業で皆様に配付さ
せていただきました。

また、地域食堂ポッケでも配付していただきま
した。

社会福祉協議会年末年始の対応について

○社会福祉協議会事務局

12月30日(土)～1月8日(月) 休日

留守番電話にて対応します。

○訪問介護(ホームヘルパー)

12月30日(土)～1月8日(月) 休日

必要時に営業します。

○老健デイケア

12月30日(土)～1月8日(月) 休日

○老健きよさと

年中無休(休業はありません)

○ケアハウスきよさと

年中無休(休業はありません)

よろしく
お願い
します。



介護関連研修について

網走地方高等職業訓練校では、介護福祉実務者研修、介護職員初任者研修を実施しています。
近年高齢化が進んでおりますが、それに伴い介護職員や有資格者不足が問題となっております。
受講の際には、教育訓練給付金、北海道等の各種助成金も活用することができます。
詳しい内容につきましては、網走職業訓練協会までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 網走市大曲1丁目1番4号 網走市能力開発センター

職業訓練法人 網走職業訓練協会 電話 0152-43-3256

社協ほっと通信

清里町社会福祉協議会
TEL 0152-22-4840
FAX 0152-26-7583



福祉のまちづくり映画上映会を開催しました。

11月17日（金）・18日（土）、清里町生涯学習総合センター小ホールにて、ノーマライゼーション普及事業の一環として「福祉のまちづくり映画上映会」を開催しました。

今年度は障がい福祉に焦点をあて「梅切らぬバカ（監督・脚本：和島香太郎）」を上映し、2日間で計95名の方が来場されました。

来場者からは「住民同士の繋がりの大切さを感じた」「障がいをもつ方の生活について考える機会になった」といった感想が聞かれました。

また、就労継続支援B型事業所エゾモモンガで作成されたエコバックなども販売しました。



地域権利擁護普及事業 町民向け研修会を開催しました。

12月8日（金）清里町生涯学習総合センター研修室にて、地域権利擁護普及事業町民向け研修会を開催しました。

この事業は、町民の皆さんに遺言や相続について考え自分ごととして権利擁護について考えてもらうきっかけづくりとして開催しました。

網走市 荒永毅法律事務所 荒永毅弁護士より、「自分らしく、地域で暮らしていくために備えておきたい終活のこと」と題し、遺言や相続について実際の例も出しながらご講演いただきました。

参加された方からは、多くの質問も出て、有意義な研修会となりました。



日頃の介護のリフレッシュ

日頃から家庭で介護をしている方を対象に、介護の知識を得たり、介護上の悩みや体験を相互に話すことで心身のリフレッシュを図ることを目的として在宅介護者の集いを開催しました。

9名の方が参加され、地域包括支援センター職員から認知症についての講話とふまねっと体験を行い、知床第一ホテルへ向かいました。

おいしいお酒と料理を食べながら交流会を行い、ゆっくりと温泉に入り、交流会のあとはお部屋でそれぞれ交流されたようです。

在宅介護者の集いも新型コロナウイルス感染防止のため宿泊での交流は4年ぶりとなりました。

参加された方からは、日ごろの疲れが癒され、ゆっくりと交流でき良かったとの感想が聞かれました。



にじいろの会の皆さんに クリスマスプレゼント！！

12月4日「にじいろの会」のお子さんにクリスマスプレゼントを贈呈しました。この事業は町民の皆様にご協力いただいた歳末たすけあい募金をもとに行っている事業です。

小さなお子さんには絵本、小学生には文房具の詰め合わせ、中学生以上のお子さんには自分で好きな物を選ぶ楽しさも味わうため商品券をお渡ししました。

「にじいろの会」は、障がいを持つお子さんのお父さんお母さんの会で、学習会や交流を行いながら、子どもたちを通して成長することを目的として活動されています。

11月には、町民文化祭に出展する鹿の皮を使ったカバンづくりを行い、子どもたちが色とりどりの皮を選んで楽しみながらカバンを作成しました。

